

令和2年3月31日  
公益財団法人翁久允財団

## 令和元年度事業報告

### I. 研究者・芸術家の援助その他(推薦)

1. 令和元年6月22日 午後3時、高志の国文学館 研修室 103 で第32回翁久允賞選考委員会を開催。
2. 令和元年7月1日以降、当財団ホームページにて翁久允賞の推薦を募った。

令和元年12月4日 第32回翁久允賞を長尾洋子氏(和光大学表現学部教授、横浜市在住)に贈賞することを翁久允賞選考委員の全員一致で内定。贈賞理由は、越中八尾民謡おわら保存会の創設者である川崎順二の残した未整理資料の特定や文献の目録化に協力した経験を活かし、新聞・雑誌、書簡など多くの資料を駆使して、おわら風の盆についての本格的な研究を行った功績。また、富山県の文化を民俗学・国文学・文化地理学にまたがる学際的な視野で捉え、近代ナショナリズムにおける「創られた伝統」研究の系譜上に、理論的かつ発展的に位置づけた功績。

3. 令和元年12月12日、午後2時より、長尾洋子氏本人の承諾を得て贈賞することを決定。給付金額は30万円。
4. 令和2年1月24日 第32回翁久允賞決定について富山県内のメディアおよび当財団のホーム・ページにプレス・リリースした。翌15日に「北日本新聞」が内容を報じた。
5. 令和2年2月16日午後2時より、第32回翁久允賞贈賞式を富山市立図書館で開催。参加者は約40名。また富山市立図書館と共催で、受賞者である長尾洋子氏の記念講演会「越中おわら風の盆の地脈—民謡研究の動向と拓がり」、および同図書館「翁久允文庫」の見学会が行われた。「富山県人」3月号が内容を掲載した。
6. 令和2年3月4日、長尾洋子氏著『越中おわら風の盆の空間誌(うたの町)からみた近代』(ミネルヴァ書房)は、令和元年度(第70回)芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)を受賞。

7. 令和2年3月21日の翁久允賞選定委員会を開催し、令和2年度の選考日程に関して、6月21日開催予定の選定委員会で方針を決定することとした。
8. 令和元年度の本事業区分の支出： 565,896 円

## II. 奨学金の貸与ならびに給付(翁賞)

1. 令和2年3月初旬 富山県高等学校長協会の定めた翁賞選考要領により富山県内高等学校の卒業生14校15名に賞状および以下の景品を贈った。

人間国宝須賀荘園作 文鎮「魁(さきがけ)」

逸見久美・須田満編 『翁久允年譜 第三版』

2. 令和元年度の該当校は次の通り。

富山県立泊高等学校	富山県立上市高等学校
富山県立中央農業高等学校	富山県立富山高等学校(2名)
富山県富山工業高等学校	富山県立富山商業高等学校
富山県立高岡工芸高等学校	富山県立高岡商業高等学校
富山県立氷見高等学校	富山県立南砺福野高等学校
富山県立南砺平高等学校	龍谷富山高校
不二越工業高等学校	片山学園高等学校

3. 平成30年度の本事業区分の支出： 434,067 円

## III. 翁久允の偉業を構成に伝える事業

1. 平成31年4月20日土曜日午後1時～4時に、高志の国文学館で、富山文学の会が主催の〈翁久允 ―研究の現在と展望―〉が開催された。プログラムは、基調講演、八木光昭氏〈翁久允の渡米―移民地文芸の出発〉、逸見久美氏・水野真理子氏の対談〈思い出すままに ―父 翁久允―〉、須田満による研究展望は〈『翁久允文献目録』を編集して〉だった。聴衆は、100名弱で、終了後、県外からの参加者も含めた懇親会も開催された。
2. 令和元年9月21日 午後2時、清泉女子大学で開催された日本比較文学会東京支部月例会で、日本大学椎名正博氏司会で須田満が〈翁久允と竹久夢二の旅と豪華客船ディナーメニューに見る昭和初期のガストロノミー〉を発表。
3. 令和元年12月1日 午後2時、高志の国文学館で静岡県立大学教授・

細川光洋氏による講演〈吉井勇と高志びとたち一疎開日記をもとに〉が開催。翁久允と藻谷銀河の仲介で吉井勇が、川崎順二を知り八尾に疎開することなどが紹介された。細川光洋氏には、吉井勇の翁久允宛書簡などの情報提供をした。

4. 令和2年2月1日、『翁久允年譜 第三版』を発行。翁賞、翁久允賞、関係図書館などに送付。
5. 令和2年2月4日 午後1時半より、富山市民学習センターにて、須田満が〈翁久允と『高志人』〉を講演。約90名の聴衆。
6. 令和2年2月11日 午前10時より、立山図書館にて水野真理子氏が〈コスモポリタン翁久允とふるさと富山〉を講演。水野真理子氏には、翁久允の立山町に関する資料の提供をした。
7. 令和2年3月5日 富山市商工労働部観光政策課戦略係から3月20日にリニューアル・オープンする八尾おわら資料館に展示する翁久允の写真と紹介文を提供。
8. 令和2年3月7日～10日、逸見久美氏所蔵の翁久允資料(日記、書簡、原稿、雑誌など)を須田満が受けとる。書簡などの整理を開始。
9. 令和2年3月21日 旧翁久允所蔵物の中に、「高志人」や「高志」に掲載された記事に原稿が発見され目録化を進める。
10. 令和2年3月22日 高志の国文学館と、須田満が寄託した資料および逸見久美寄託予定資料の目録化の進め方、川田順、吉井勇の翁久允あて書簡展示に関して打ち合わせ。6月中旬以降、1年間4回に分けて同館の特別展示室での展示することとする。
11. 令和2年3月23日 富山市教育委員会事務局長、富山私立図書館長と旧富山市立図書館裏に放置された翁久允胸像の移転問題を協議。胸像を富山市の管理に委ね、6月までに富山市役所前の公園に移転することに合意した。(6月2日に移転が完了した。)
12. 逸見久美と須田満共同編集による『翁久允年譜・著作目録』の進捗状況  
当財団が資料収集等の支援をする本著は、令和元年6月時点で、「翁久允年譜」「翁久允書誌」の初校正が出た。この時点で、在米初期の日記から判明した事項、ラジオ・テレビ放送出演の裏付け資料、人名索引の追加の要請が出た。また9月に翁久允の手書きによる『翁久允講演記録』2冊が新たに発見され、書誌に追加することを決定。大空社出版と打

ち合わせの上、まず『翁久允年譜・著作目録』を令和2年秋に発行し、2年後に『翁久允参考文献、高志人総目録』を出版する方針とした。なお、『翁久允全集 全十巻』は、USB版で出版するが、誤植などは訂正表で対応する。なお、『翁久允年譜 第三版』は『翁久允年譜・著作目録』の抜き刷りを先行出版したものである。

13. 令和元年度の本事業区分の支出： 827,474 円

#### IV. 法人管理

1. 令和2年3月17日 故須田日美前評議員(元高志奨学財団理事長)が所有した株式(味の素株式会社、北陸電力株式会社、北陸砂糖株式会社)が寄附される。

以上

### 令和元年度 定時評議員会・理事会決議・報告事項

#### I. 評議員会決議

1. 令和元年度 定時評議員会
  - 1) 日時： 令和元年6月22日
  - 2) 場所： 高志の国文学館 研修室 103
  - 3) 決議事項
    - 第1号議案 議事録の作成者の選出の件
    - 第2号議案 平成30年度計算書類等の承認の件

#### II. 理事会決議

1. 令和元年度第1回理事会(決議の省略による)
  - 1) 日： 令和元年6月5日
  - 2) 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
    - 第1号議案 平成30年度事業報告、事業報告の附属明細書の承認の件
    - 第2号議案 平成30年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録承認の件

2. 令和元年度第2回理事会

- 1) 日時： 令和元年年6月22日
- 2) 場所： 高志の国文学館 研修室 103
- 3) 代表理事による業務執行に関する報告事項
  - (1) 令和元年度事業計画、収支予算について(理事会承認済み)
  - (2) 令和元年度研究助成金(翁久允賞)について
  - (3) 令和元年度翁賞および翁久允の偉業普及活動について
  - (4) 令和元年度翁賞および翁久允の偉業普及活動について  
出席理事からは、翁久允の渡米前後の日記の翻刻に期待する旨のコメントがあった。

3. 令和元年度第3回理事会

- 1) 日時： 令和2年3月21日
- 2) 場所： 公益財団法人翁久允財団事務所
- 3) 決議事項
  - 第1号議案 令和2年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件
  - 第2号議案 令和2年度定時評議委員会の日時及び場所並びに目的である事項等』の決定の件
- 4) 代表理事による業務執行に関する報告事項
  - (1) 令和元年度予算進捗と着地見込みについて
  - (2) 令和元年度研究助成金(翁久允賞)について
  - (3) 令和元年度翁賞および翁久允の偉業普及活動について

以上